

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年7月 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 大平弘正

【研究課題名】自己免疫性肝炎における新規自己抗体の探索

【研究期間】平成27年7月～令和5年6月

【研究の意義・目的】

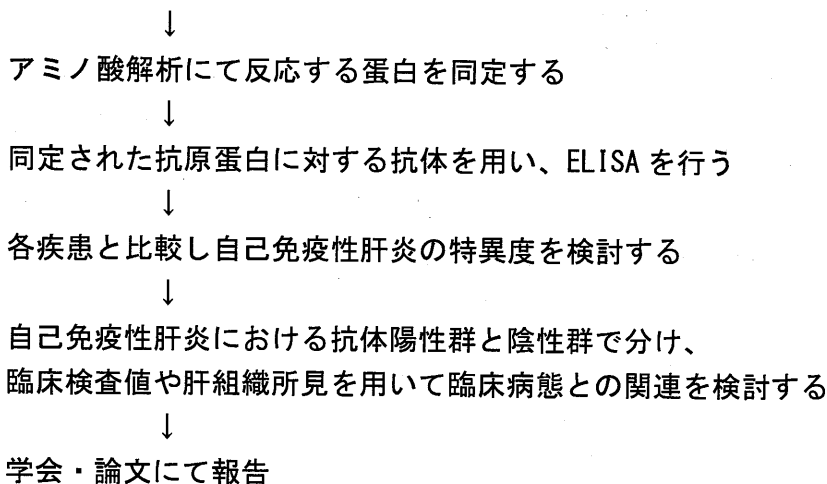
自己免疫性肝炎では抗核抗体、抗平滑筋抗体などの自己抗体が検出されるが、これら自己抗体には疾患特異性がありません。本症の診断においては、国際診断基準とわが国の診断指針を用いられていますが、特異的な疾患マーカー（自己抗体）が無いとため、非定型例や急性発症例においてはしばしば診断に苦慮します。また、劇症肝炎非移植例における救命率は21%と予後不良であり、要因の一つに診断困難例の存在が挙げられます。一方、本症の病因は、肝細胞膜あるいは肝類洞内皮細胞に表出する抗原蛋白を標的とする自己免疫応答が主体と考えられ、自己抗体の対応抗原の同定は本症の発症機序を解明する上で重要です。これまで、病因に関与する候補自己抗体として抗LKM-1抗体や抗SLA/LP抗体が報告されていますが、陽性例は少なく病態解析が難しいのが現状です。したがって、本症においては診断あるいは病態に関与する高感度の疾患特異的な自己抗体の探索が急務であるため行なうこととしました。

【研究の対象となる方】

当院消化器内科で1990年1月以降に診断された以下に示す患者さんが対象です。
自己免疫性肝炎20例、原発性胆汁性肝硬変20例、ウイルス性慢性肝炎10例、
全身性エリテマトーデス10例
電子カルテ等の医療記録から検査結果を追跡確認することができる患者さんを対象とします。

【研究の方法】

ヒト培養肝細胞および肝類洞内皮細胞の非核成分と自己免疫性肝炎患者血清を用い、ウエスタンブロットを施行



【研究組織】

（所属） （職） （氏名）

研究責任者（所属）消化器内科学講座（職）教授（氏名）大平弘正
主任研究者（所属）消化器内科学講座（職）講師（氏名）阿部和道
研究分担者（所属）消化器内科学講座（職）准教授（氏名）高橋敦史
研究分担者（所属）消化器内科学講座（職）助手（氏名）林学

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 阿部和道
電話：024-547-1202 FAX：024-547-2055
E-mail：k-abe@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 阿部和道
電話：024-547-1202 FAX：024-547-2055
E-mail：k-abe@fmu.ac.jp